

第16回男女共同参画フォーラム

令和4年4月23日（土）

# 日本医師会女性医師支援センター事業

日本医師会 常任理事

神村裕子

# 女性医師支援センター事業

女性医師は出産や育児により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成の支援を図り、医師確保対策に資することを目的としている。

- 平成18年11月  
厚生労働省より「医師再就業支援事業」を受託
- 平成19年1月  
日本医師会女性医師バンク開設（就業継続支援、再研修含む）  
女性医師バンク以外の事業も開始
- 平成21年4月  
「医師再就業支援事業」改め「女性医師支援センター事業」へ  
（女性医師の勤務継続への支援に重点を置き、更なる事業の発展を目指す。）



## ＜女性医師支援センター事業内容＞



- ①日本医師会女性医師バンク（女性医師の就業・復職・再研修支援）
- ②女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック別会議
- ③医学生、研修医等をサポートするための会
- ④地域における女性医師支援懇談会
- ⑤医師会主催の研修会等への託児サービス併設促進と費用補助
- ⑥女性医師の実情調査

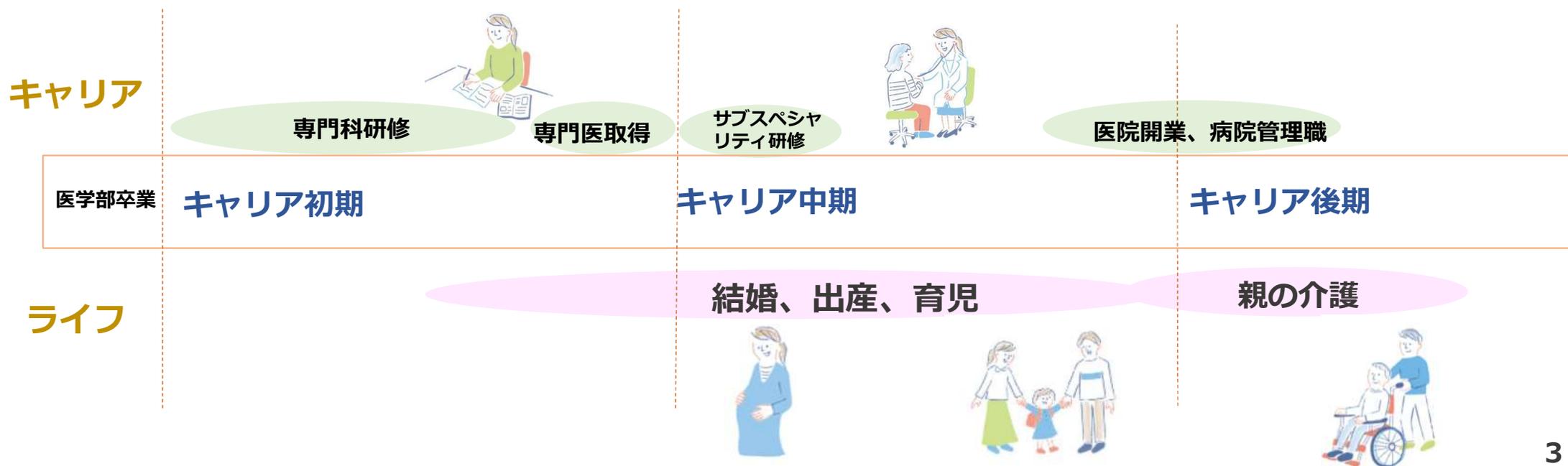
女性医師支援センター中核事業

日本医師会  
女性医師バンク

# ① 日本医師会女性医師バンク（医師の無料職業紹介事業所）

## ◆ 医師の多様な働き方をサポート！（女性医師の就業・復職・再研修支援）

結婚・出産・育児・介護、女性医師は様々なライフイベントによって勤務環境に変化が生じる。女性医師が無理なく、キャリアを継続するために、一人ひとりのライフステージにあった就業先や研修先の紹介を行い、医師としてのキャリアが途切れることなく継続できるようサポートを行っている。



# ◆◆令和3年度女性医師バンク事業 実績◆◆

## <求職者状況>

- ①新規登録数 625件  
(有効総登録数 3,001件)
- ②就業支援数 1,287件

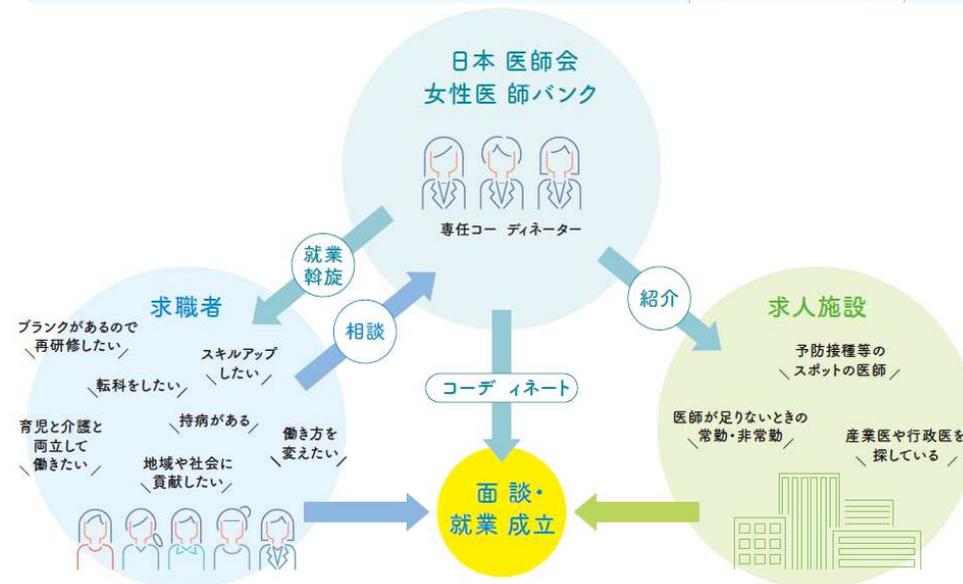
## <求人施設状況>

- ①新規登録数 715件  
(有効総登録数 6,128件)
- ②求人数 2,991件 ※令和4年3月末時点  
※内訳：常勤1,136件、非常勤 1,249件、スポット 591件

## <就業成立状況>

- 就業成立数 846件  
※内訳：常勤13件、非常勤329件、スポット504件

日本医師会女性医師バンク  
<https://jmadbk.med.or.jp/>



## ◆求人施設側へのサポート

- 産休・育休の際の代替え医師が必要！
- 常勤医師・非常勤医師が不足している
- 学会出席や予防接種等のスポットでの対応してもらえる医師を探している。
- 勤務している医師が病気になったため至急、医師を探したい。
- 行政医・産業医を探している。



女性医師バンクには現在、約3,000名の医師が登録

Point1

紹介に係る費用はすべて無料

Point2

コーディネーターが  
医師の確保をサポート

Point3

日本全国、日本医師会の  
会員・非会員問わず利用が可能

# 女性医師バンク 今後の展望



## 1. 都道府県医師会と密に連携

都道府県医師会と日本医師会が密に連携し、全国各地のニーズに応じていきます

## 2. 地域医療の課題解決を見据えて

医師の偏在等、地域の課題の解決に寄与します。



## 3. さらに多様なニーズに応える

女性医師のみならず、シニア世代へのサポートも強化します。



## ②女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック別会議

本事業へのご理解を深めていただき、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より全国6ブロックにて開催。都道府県医師会との連携強化も目的としている。

### <令和3年度開催状況>

#### 議題

- ①各都道府県医師会ドクターバンクの状況報告
- ②各都道府県医師会における復職・再研修支援体制について
- ③女性医師のキャリアアップ支援体制について

- ・ 北海道・東北ブロック（令和3年11月3日 WEB開催、出席者：43名）
- ・ 関東甲信越・東京ブロック（令和3年9月11日 WEB開催、出席者：37名）
- ・ 中部ブロック（令和3年10月16日 WEB開催、出席者：46名）
- ・ 近畿ブロック（令和3年11月27日 WEB開催、出席者：47名）
- ・ 中国・四国ブロック（令和3年11月14日 WEB開催、出席者：75名）
- ・ 九州ブロック（令和3年11月6日 WEB開催、出席者：43名）



<平成30年度のブロック会議>

### ③ 医学生、研修医等をサポートするための会

医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが重要である。本講習会等を通じ、医学生や若い医師がキャリアを中断せずに就業を継続できるよう、多様な医師像のモデルを提示する。

- ◇ 都道府県医師会ならびに日本医学会分科会や医会等、医療関係団体との共催により実施。
- ◇ 開催に掛かった費用の一部を負担。（上限20万円）

### ④ 地域における女性医師支援懇談会

地域で活躍されている女性医師などにより、女性医師支援のあり方などを各地でディスカッションいただき、実践していただくことを目的としている。

費用 : 参加者1名につき2,500円（税込み）を上限として実費を本会が負担。  
（最大50名まで）

実施主体 : 日本医師会女性医師支援センター（以下、センター）が主催。各地で女性医師支援活動をされ懇談会を開催していただける方に実施責任者となっていただく。各医師会等、他団体との共催も可能。

### ⑤ 医師会主催の研修会等への託児サービス併設促進と費用補助

育児中の医師の学習機会の確保を目的として、都道府県医師会、郡市区医師会が主催する研修会・講演会・講習会などへの託児サービスの併設促進として費用の補助を行っている。

都道府県医師会または郡市区医師会が主催する研修会等については、平成21年度から費用を補助。  
（基本、1都道府県医師会あたり30万円）

## ⑥女性医師の実情調査

### ●女性医師の就業等に係る実情把握調査の実施

全国の病院勤務女性医師の現況を詳細かつ正確に把握することを目的として、平成21年と平成29年にアンケート調査を実施。

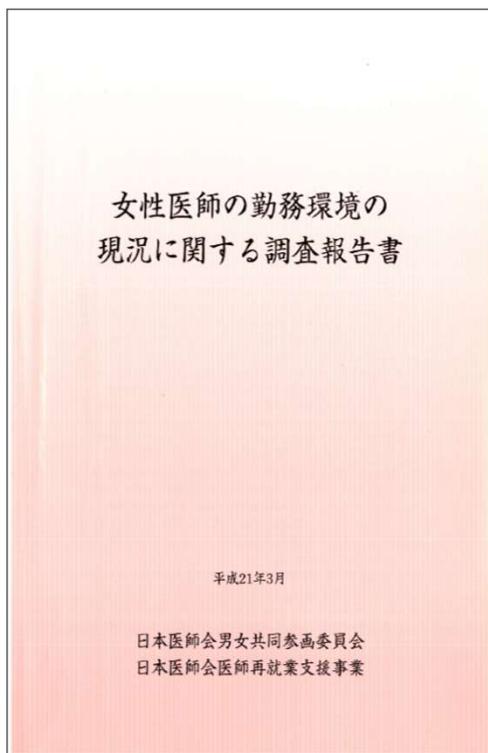
#### 【1回目調査】

調査期間：  
2008年12月～2009年1月実施

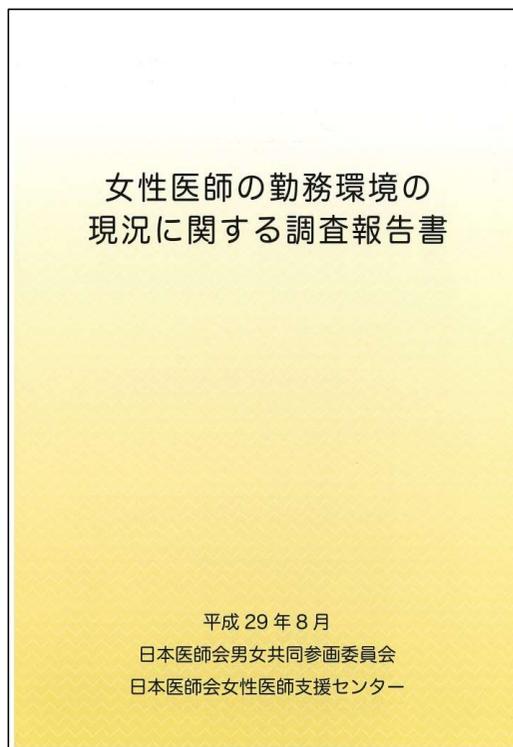
回収数 7,497 (回収率49.9%)

有効回答数 7,467  
(有効回答率49.7%)

※回答率は、病院より連絡のあった配布数の合計15,010から算出。



女性医師の勤務環境の  
現況に関する調査報告書



#### 【2回目調査】

調査期間：2017年2月～3月末

回収数：10,612  
(病院勤務の全女性医師に占める回収割合  
24.7%)

有効回答数：10,373  
(配布数を分母とした場合の有効回答率  
34.2%)

## 女性医師に必要な勤務支援

- 産前産後休業取得の徹底
- 育児休業取得の徹底と代替医師制度
- 保育・託児施設
- 病児保育室の整備
- 柔軟な勤務制度（短時間正社員制度など）
- 主治医制度の見直し（チーム医療やシフト制の導入）
- 上司・同僚などの理解と支援
- 再研修・再就業支援

※ 「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」 2017年8月,日本医師会男女共同参画委員会/日本医師会女性医師支援センター

調査結果の詳細は、[女性医師支援センター](https://www.med.or.jp/joseiishi/article022.html) > [女性医師支援センターの活動](https://www.med.or.jp/joseiishi/article022.html) > [各種資料](https://www.med.or.jp/joseiishi/article022.html) からご覧いただけます。  
<https://www.med.or.jp/joseiishi/article022.html>

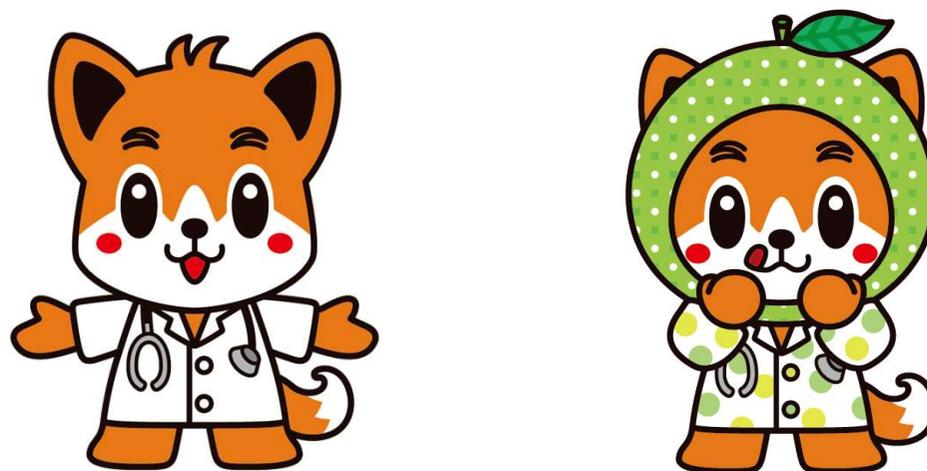
# 医師の多様な働き方を支えるハンドブック

医師が社会人として働く上での知っておきたい基礎知識や出産・育児に関して直面する課題、それを支える制度などの情報を一冊にまとめたハンドブック。医学生・研修医をはじめ多くの医師が活用できる内容となっている。



詳細は女性医師支援センターHP (<https://www.med.or.jp/joseiishi/>) をご覧ください。  
配布希望の方はinfo-bank@jmawdbk.med.or.jpまでご連絡ください。

ご清聴、ありがとうございました



JAPAN MEDICAL ASSOCIATION